



東洋大学 長期留学

2022年度 春・秋学期出発
(第Ⅱ期募集)

募集要項

※ 必ず募集要項をよく確認して出願してください。

東洋大学
国際教育センター

新型コロナウイルスの影響により、本プログラムの実施は現時点で確定しておりません。最終的な実施可否は、本学の海外への学生派遣基準により決定します。学内での選考通過後、留学先への出願手続きを行っていても、留学先での安全確保等が困難と本学が判断した場合は留学を中止する可能性がありますので、ご理解の上出願してください。

【1】概要

1. 長期留学の特徴

海外の大学で正規課程を履修する「学部留学」

- ・留学先大学の正規科目の履修・修得を目的とした留学プログラムです。
- ・前半の1学期間は語学学校で語学を習得し、2学期目は正規科目を履修する「ブリッジプログラム」での留学も可能です(一部の協定校および留学支援団体を利用して留学する場合のみ)。

種類豊富な留学先

- ・本学が学生交換協定を結ぶ協定校または学生交換コンソーシアム(ISEP・UMAP)加盟大学へ留学することができます。
- ・その他にも、留学支援団体を通じて留学する場合や個人で留学先に出願する場合は、より多くの留学先から選択することができます。

経済的な負担を抑えて長期の留学ができる

- ・学生交換協定に基づく協定校の場合、原則(※)留学先の授業料は免除となります。
※一部の協定校(Bタイプ)は留学先の授業料を支払う必要があります。
- ・留学期間に応じて本学授業料相当額の奨学金が給付されます。また、一定の語学基準やGPAを満たし、選抜された学生は、東洋大学海外留学促進奨学金の「グローバルリーダー型」「トップ大学型」の受給資格を得ることもできます。
- ・本学の協定校(Bタイプ)への留学や留学支援団体や個人で留学先を手配する留学は留学先の授業料は学生負担となりますが、上記の各種奨学金の対象となります。

単位認定の申請可能

- ・留学先で修得した単位を東洋大学の単位に認定することができます。
※ただし、認定できる科目や単位数は学部・研究科により異なりますので、所属学部・研究科の教務担当課で事前に確認してください。
- ・留学中の学籍は「在学」として扱われるため、卒業要件を満たせば最低修学年限での卒業が可能です。
(※詳細は所属学部・研究科の教務課で確認してください。)

2. 留学期間

(1) 春学期出発

【1学期間留学】 開始時期:2022年2月～3月 終了時期:2022年7月～9月(予定)

【1年間留学】 開始時期:2022年2月～3月 終了時期:2022年12月～2023年3月(予定)


(2) 秋学期出発


- 【1学期間留学】 開始時期:2022年8月～10月 終了時期:2022年12月～2023年1月(予定)
【1年間留学】 開始時期:2022年8月～10月 終了時期:2023年5月～8月(予定)


- * 留学期間が1学期間もしくは1年間のいずれかみのみの大学もあります。*留学先により上記の時期は多少前後する場合があります。
- * 春学期出発の場合、本学の協定校は選択できる大学が限られていますのでご注意ください。
- * 学生交換コンソーシアム加盟大学を学内選考時に出願先として選択する場合や、留学支援団体・個人で留学先に出願する場合、出願先大学の学年暦(留学開始時期)と本学の授業実施期間(試験・補講含む)が重複しないよう、必ず確認してください(重複している場合は学内出願不可となります)。重複しているか不明な場合は、国際教育センターにご確認ください。(例:アメリカの大学の春学期開始が1月の場合、本学の秋学期と重複しているため、原則、春学期からの留学としての出願は不可)

3. 留学先大学

本学が学生交換協定等を締結している協定校や、学生交換コンソーシアムに加盟している大学、もしくは留学支援団体を通じて留学先を探したり、個人で留学先を見つけることも可能です。

(1) 本学の協定校	
<p>北南米、ヨーロッパ、東南アジア、東アジア、オーストラリア内に位置する147大学(2021年6月時点)。各大学の詳細は長期留学のウェブサイトに掲載の「協定校ファクトシート」で確認してください。</p> <p>https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_semester/Gaiyo</p> 	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、留学先の授業料は免除(Aタイプ)。※一部の協定校(Bタイプ)は授業料を支払う必要があります。 ・一部の協定校でブリッジプログラムによる留学が可能です。 ・春学期出発の場合、本学の協定校は選択できる大学が限られていますのでご注意ください。

(2) 学生交換コンソーシアム加盟大学	
<p>学生交換コンソーシアムとは世界的な大学連合ネットワークを表します。本学は「ISEP(International Student Exchange Programs):アイセップ」と「UMAP(University Mobility in Asia and the Pacific):ユーマップ」の二つの学生交換コンソーシアムに加盟しています。各学生交換コンソーシアムの詳細は長期留学のウェブサイトで確認してください。</p> <p>https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_semester/Gaiyo/consortium</p> 	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・原則(※)留学先の授業料は免除。※一部の協定校は授業料を支払う場合があります。 ・東洋大学が直接協定を結んでいる大学だけではなく、各学生交換コンソーシアムに加盟している大学に留学することができます。 ・学内の選考で学生交換コンソーシアム加盟校への留学が決定した場合、その後、各コンソーシアム内でも別途選考が行われます。

(3) 留学支援団体が紹介する留学先	
<p>個人で留学手続きを行う場合に比べ、比較的スムーズに手続きを行うことができます。本学と提携している留学支援団体がいくつかありますので、詳細は長期留学のウェブサイトで確認してください。</p> <p>https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_semester/Gaiyo/association</p> 	

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・留学先大学は学位授与権のある大学が対象となります。 ・留学先の授業料は自己負担となります。 ・留学支援団体を通じた留学の場合、世界中の大学から留学先を選ぶことができます。 ・ブリッジプログラムで留学できる大学の種類が豊富です。 ・世界ランキング上位の大学にも留学することができ、本学が指定する世界大学ランキング 100位以内の大学であれば、東洋大学海外留学促進奨学金「トップ大学型」(300万円/年)を受給する機会が得られます(選抜あり)。 ・留学支援団体を通じて留学する場合でも長期留学の学内選考に出願する必要があります。その際、本学の協定校や学生交換コンソーシアム加盟大学との併願はできません。 ・長期留学出願日までに、留学予定大学からの合格通知もしくは留学支援団体での手続きが進んでいることが確認できる証明書を取得している必要があります。
本学が提携する留学支援団体	<ul style="list-style-type: none"> ◆SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション日本事務局 http://japan.studyabroadfoundation.org/ ◆日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF) www.japanstudyabroad.org ◆海外留学推進協会 (Study Abroad Association) www.ryugaku.or.jp ◆オーストラリア・ニュージーランド留学 MEC http://mec-ryugaku.jp/ <p>※詳細は長期留学のウェブサイトでご確認ください。</p>

(4) 個人で留学先を選定

個人で留学先を選定し出願する場合、必ず事前に国際教育センターにご連絡をお願いします。

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・留学先大学は学位授与権のある大学が対象となります。 ・留学先の授業料は自己負担となります。 ・個人で留学先を選定する場合でも長期留学の学内選考に出願する必要があります。その際、本学の協定校や学生交換コンソーシアム加盟大学との併願はできません。 ・長期留学出願日までに、留学予定大学からの合格通知を取得している必要があります。
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ブリッジプログラムについて

1年間の留学のうち、前半の1学期間は大学附属の語学学校等で語学を学習し、2学期目に学部正規科目を履修するプログラムです。正規科目を履修するために必要な語学要件に達していない場合や、語学力の強化と正規科目の履修を合わせて行いたい方におすすめです。

<注意>

※ 2学期目から正規科目を履修するためには、1学期目の語学プログラム修了要件を満たす必要があります。1学期目の語学プログラムを修了できず、2学期目に正規科目を履修・修得できなかった場合は給付済の奨学金を返還いただきます。

※ 本学の協定校(Aタイプ)にブリッジプログラムで留学する場合でも、1学期目の語学学校等での授業料が有料となる大学がありますので、協定校ファクトシートでよく確認してください。

～ 留学先を選ぶ際の情報収集について ～

自身が希望する留学を実現するためには、留学先選びが重要となります。下記の方法等を活用しながら、しっかりと準備をしましょう。

説明会の参加	<p>長期留学のウェブサイトで説明会のスケジュールを確認できます。</p> <p>https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_semester/information</p>	
留学カウンセリング	<p>事前予約制で、本学の学生であれば無料で何回でも利用できます。留学支援団体を通じた留学の場合は、各団体の個別カウンセリングも利用しましょう。</p> <p>https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_prep/ryugaku-counselling/</p>	
留学レポート	<p>長期留学に参加した学生が作成したレポートで、学修内容や留学先での様子、費用などが閲覧できます。</p> <p>https://ryugaku.toyo.ac.jp/ryugaku/</p>	

【2】学内選考について

1. 出願資格

- (1) 学内出願時において本学の学部・大学院生の者
 - * 学部4年生および大学院生については、留学期間中本学の学部または大学院に在籍予定の者。
- (2) 海外大学で正規科目を学習する意欲が十分にあり、留学先大学で生活・学修ができるレベルの語学能力を有する者
- (3) 留学先が大学・大学院(2年制大学および大学附属語学学校含む)であり、留学期間中に大学・大学院の正規科目を履修・修得する予定の者。※大学附属語学学校での語学科目のみの履修・修得は長期留学として認められません。
- (4) 志望する大学の出願資格(語学要件およびGPA要件(通算))を満たしている者
 - * GPA要件についての注意点:
 - ①学内選考は、出願する学期の前学期(2021年度春学期)までの通算GPAが対象となります(クォーター単位ではなく学期単位で換算します)。
 - ②秋学期出発の場合、長期留学参加までに2021年度秋学期までを含めた通算GPAが志望大学の要件を満たしている必要があります(出願時に要件を満たしていても、出願後に志望大学の要件を下回った場合は留学できません)。
- (5) 二次選考に出席できる者
 - * 必ず「2. 学内選考から留学までのスケジュール」を確認してください。
- (6) 留学支援団体を通じた留学または個人で留学先を選定する場合、学内選考時に留学支援団体または留学予定大学から発行される入学許可書を取得していること。

2. 学内選考から留学までのスケジュール

※スケジュールは変更となる場合があります。

(1) 春学期出発の場合

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
学内出願&選考	▶								
選考結果発表		▶							
留学先への出願		▶							
事前研修		▶							
ビザ申請・航空券 滞在先手配 等		▶							
留学開始				▶					

※ 留学支援団体を通じた留学や、個人で手配する留学は学内選考よりも前に留学先への出願手続きを行います。

<学内選考日程>

	日程	
	東洋大学の協定校 ※1	留学支援団体 または個人手配の留学
学内選考の出願期間	2021年11月17日(水)～11月24日(水) 午前9時(時間厳守)	
一次選考 合否通知(メール)	2021年11月29日(月)	
二次選考 (プレゼンテーション形式)	2021年12月1日(水)・2日(木)・3日(金)のいずれか ※2	
最終合否通知(メール)	2021年12月15日(水)	
留学先への出願手続	2021年12月～	学内選考の出願期間前までに留学予定大学 への出願を済ませておくこと
オリエンテーション	2021年12月～2022年1月の間に複数回実施	
各種奨学金の給付 (1回目) ※4	2022年1月頃	
留学期間 ※5	【1学期間留学】 開始:2022年2月～3月 終了時期:2022年7月～9月(予定) 【1年間留学】 開始:2022年2月～3月 終了時期:2022年12月～2023年3月(予定)	
交換・認定留学奨学金の給付 (2回目) ※4	帰国後、国際教育センターが定める提出物の提出等が完了次第	

(1) 秋学期出発の場合

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
学内出願&選考	→									
選考結果発表			→							
留学先への出願				→						
事前研修					→					
ビザ申請・航空券 滞在先手配 等							→			
留学開始										→

	日程		
	東洋大学の協定校	学生交換コンソーシアム 加盟校	留学支援団体 または個人手配の留学
学内選考の出願期間	2021年11月17日(水)～11月24日(水) 午前9時(時間厳守)		
一次選考 合否通知(メール)	2021年12月8日(水)		
二次選考 (プレゼンテーション形式)	2021年12月16日(水)・17日(金)・18日(土)のいずれか ※2		
留学希望先追加調査 ※3	2022年1月上旬(予定)	—	
最終合否通知(メール)	2022年1月19日(水)		
留学先への出願手続	2022年2～5月	【ISEP 加盟校】 ISEP および留学先への出願: 2022年1月～2月上旬 【UMAP 加盟校】 未定	学内選考の出願期間前までに 留学予定大学への出願を済ませ ておくこと
オリエンテーション	2022年3月～2022年7月の間に複数回実施		
各種奨学金の給付 (1回目) ※4	2022年7月頃		
留学期間 ※5	【1学期間留学】 開始:2022年8月～10月 終了時期:2022年12月～2023年1月(予定) 【1年間留学】 開始:2022年8月～10月 終了時期:2023年5月～8月(予定)		
交換・認定留学奨学金の 給付(2回目) ※4	帰国後、国際教育センターが定める提出物の提出等が完了次第		

- ※1 春学期出発の場合、本学の協定校は選択できる大学が限られていますのでご注意ください。
- ※2 授業・補講・試験以外の事由による日時変更は受け付けられません。なお、新型コロナウイルスの影響により、二次選考をオンラインミーティングシステムを利用して行う可能性があります。選考に関する詳細は一次選考通過者に後日お知らせします。
- ※3 留学希望先追加調査とは、二次選考の結果、人数枠により第1～第5希望までの大学に派遣ができない場合、派遣枠に余りのある大学への留学を希望する意思があるか確認するために実施する調査です(本学の協定校を出願先とした学生のみ)。
- ※4 交換・認定留学奨学金は、留学期間が1年間の場合、原則として出発前に奨学金額の半額を給付し、残りの半額を所定の提出物の提出等を完了した者に給付します。留学期間が1学期間の場合、留学前に一括で給付します。国際学部グローバル・イノベーション学科の日本人学生は交換留学奨学金ではなく学科独自の奨学金を受給するため、給付時期は教務課で確認してください。
- ※5 留学期間は、留学先の学年暦をもとに国際教育センターが定めます。学生個人の都合により留学期間を変更することはできません(大学が定める留学期間を超えて現地に滞在することはできません)。

3. 学内選考の出願先

長期留学のウェブサイト内、「学内出願」に掲示される専用 Google フォームに入力および必要書類をアップロードして出願してください。

〔URL〕 https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_semester/Gaiyo



※ 上記で開けない場合 東洋大学 HP > 国際交流 > 国際教育センター > 海外留学を希望する方へ > 長期留学 > 概要

<出願の手順>

- ① 上記「3.学内選考の出願先」に記載の URL へアクセスし、出願フォームを開く

*フォームは出願期間中のみアクセス可能です。

*フォームにアクセスできない場合、@toyo.jp のメールアカウントへログインしてから再アクセスしてください。それでもうまく行かない場合、一度全てのメールアカウントをログアウトし、再度@toyo.jp のアドレスへログインし、フォームを開いてください。

- ② 必要事項の入力および書類データのアップロード

A. 基本情報(氏名、学籍番号、学部・学科名、その他選考に必要な出願者の情報)

B-1. 留学志望先(第5希望まで記入可)

※本学の協定校または学生交換コンソーシアム加盟大学への留学を希望する場合

- * 本学の協定校または学生交換コンソーシアム加盟大学を出願先とする場合、語学要件・GPA 要件を満たしていない留学先を記入した場合は選考対象となりません。第1～5志望先のうちいずれの大学も要件を満たしていない場合、一次選考で不合格となります。
- * 留学支援団体または個人で留学先を選定する場合、本学の協定校や学生交換コンソーシアム加盟大学との併願はできません。

B-2. 留学先大学あるいは留学支援団体への提出資料等

※留学支援団体を通じた留学または個人で手配する留学の場合のみ

- ・ 留学先大学あるいは留学支援団体からの入学許可書(写)
- ・ 留学先大学あるいは留学支援団体への出願書類一式(写)

C. 語学能力および語学能力証明書の画像データ(複数スコアを申告可)

- * 出願時点で有効な語学資格試験のスコアを提出すること(※特に定めがない限り、出願日より2年以内に受験されたもの)。
- * ファイル名は「Language_学籍番号」とすること。
- * スキャンデータもしくはスマートフォン等で証明書を撮影した写真のデータを用意し、オンライン出願時にアップロードすること(学生本人の氏名、受験日、受験結果が明記されていること)。
- * ToyoNet-ACE 「TGL プログラム認定要件達成状況」内、「英語能力」の画面コピーも使用可。「テスト名、氏名、受験日、受験結果」が確認できる内容であること。ただし、学内選考通過後、留学先大学に出願書類を提出する際、正式なスコア証明書の提出が必要となる場合があります。
- * 出願要件に「CEFR ○○」と記載のある大学は、「協定校ファクトシート」に掲載の CEFR 関連表を参考にして該当する語学資格試験のスコアを提出してください。
- * ISEP 加盟校へ「LPR(ISEP Language Proficiency Report)」で出願する場合でも、出願時点で有効な語学資格試験のスコアを合わせて提出してください。なお、学内の出願後、ISEP での出願時(秋出発は3月1日)までに語学スコアが上がった場合は、そのスコアに基づき出願先大学を選び直すことが出来ます。

- * コロナウィルスの影響によりオンラインで実施される語学資格試験のスコアも提出可としますが、試験会場で行われる通常の試験を受験されたスコアを保有する出願者を優先して選考します。また、学内選考通過後、留学先大学に出願書類を提出する際、試験会場で行われる通常の試験のスコア提出が必要となる場合があります(※TOEFL iBT®Special Home Editionは通常の TOEFL iBT テストと同等に扱われます)。判断が難しい場合は、学内選考の出願期間までに国際教育センターへお問い合わせください。
- * 学内選考の出願時に提出したスコアを基に、「東洋大学海外留学促進奨学金(グローバルリーダー型)」候補者の選出を行います。そのため、志望する大学が求める語学試験以外にも該当するスコアがある場合は、必ず出願時に提出してください。
(例)志望先大学が IELTS スコアを求めている場合:IELTS 以外の試験で「グローバルリーダー型」の基準以上のスコア(TOEIC)等がある場合は該当スコアを併せて提出。

D. 二次選考で使用するプレゼンテーション資料(以下①～③すべての内容を含むこと)

- ①志望動機(長期留学を志望する理由、第1志望の大学を選択した理由)
- ②履修意欲および計画性(留学先で学修を希望する分野・履修を希望する科目およびその理由)
- ③留学を実現させるために、これまで取り組んできたこと・その成果および留学決定後の学修面に
関する準備計画
 - ・留学先で学修に使用する言語で作成すること。
 - ・Microsoft Powerpoint で作成。シートの枚数は合計5枚以内。
 - ・シート1枚目に学籍番号、学部、学科、学年、氏名を英語で明記すること。
 - ・ファイル名は「PPT 学籍番号」とすること。
 - ・出願期間を過ぎてからの差替えは不可。

E. 健康状態について

- *「健康状態確認書」は長期留学のウェブサイト内からダウンロードし、記入済の書類をスキャン後、PDF データをオンライン出願フォーム内でアップロードしてください(本人と保証人の印鑑が同じ場合は受付不可です)。

F. 保証人連絡先等

G. 奨学金支払先の銀行口座情報

※ 注意 ※

提出後の出願内容の変更や二次選考用プレゼンテーション資料の差替えを希望する場合、出願期間内に出願フォームから新たに出願し直してください。電話やメール等での変更や差し替えは受け付けません。また、出願し直した場合は古い出願データは破棄されます。

4. 学内選考出願後の流れ

- ◆ 一次選考は、出願書類に基づく書類選考です。
- ◆ 一次選考の結果は、学内出願者全員に各自の@toyo.jp メールアドレスへ連絡します。(上記「2. 学内選考から留学までのスケジュール」記載日までにメールが来ない場合、翌日 13 時までには国際教育センター(mlryugaku@toyo.jp)にお問い合わせください)。
- ◆ 一次選考の合格者を対象に、二次選考を実施します。
 - *「2. 学内選考から留学までのスケジュール」に記載の二次選考予定日のうち、いずれかの日で実施します。
授業・補講・試験以外の事由による日時変更は受け付けられません。学部主催の国内・海外研修により出席できない場合、学内出願前に国際教育センターへ申告してください。
- ◆ 二次選考は、学内出願時に提出した資料を使用したプレゼンテーション形式です。
 - プレゼンテーションの言語: 留学先で学修に使用する言語
 - 持ち時間: 1人3分以内 * 質疑応答の時間を除く
 - 形式: 面接官2名 学生3~5名のグループ形式

(プレゼンテーションは学内出願者ごとに行ないます)

二次選考時の提出書類 * 提出方法は二次選考合格者に後日お知らせします。

・健康状態確認書

- ◆ 二次選考の結果は、二次選考参加者全員に各自の@toyo.jp メールアドレスへ連絡します。(上記「2. 学内選考から留学までのスケジュール」記載日までにメールが来ない場合、翌日 13 時まで国際教育センター(mlryugaku@toyo.jp)にお問い合わせください)。

※ 補足事項

- ・選考に関する詳細は一次選考通過者に後日お知らせします。
- ・例年は健康状態確認書に加え、健康診断証明書も提出いただいておりますが、コロナウィルスの影響により選考時点での提出は不要です。今後、提出が必要となった場合に改めてご連絡します。
- ・二次選考の結果、人数枠により第 1～第 5 希望までの大学に派遣ができない場合、派遣枠に余りのある大学への留学を希望する意図があるか確認するための追加調査を行ないます(本学の協定校を出願先とした学生のみ)。
- ・学内出願に関する連絡は全て出願者の@toyo.jp のアドレス宛にメールで行ないます。必ず定期的にメールを確認してください。

【3】奨学金

1. 学内の奨学金

(1) 奨学金の種類

長期留学に参加する学生は、下記のいずれかの奨学金が給付(返済不要)されます。

交換留学奨学金	
対象	本学の協定校 または 学生交換コンソーシアム加盟大学に留学する学生
受給額	本学年間授業料相当額(1 学期間留学の場合はその半額)
備考	・ 国際学部グローバル・イノベーション学科に所属する学生のうち、学生区分が外国人留学生以外(日本人学生など)の学生は、「東洋大学国際学部グローバル・イノベーション学科海外留学プログラム」で定められた奨学金を受給するため本奨学金の対象外となります。 ・ 留学期間が1年間の場合、出発前に奨学金額の半額を給付し、残りの半額は帰国後に所定の提出物等を完了した者に給付します。留学期間が 1 学期間の場合は、留学前に一括で給付します。

認定留学奨学金	
対象	留学支援団体を通じた留学、または個人で選定した大学に留学する学生
受給額	本学年間授業料相当額(1 学期間留学の場合はその半額)
備考	留学期間が1年間の場合、出発前に奨学金額の半額を給付し、残りの半額は帰国後に所定の提出物等を完了した者に給付します。留学期間が 1 学期間の場合は、留学前に一括で給付します。

東洋大学海外留学促進奨学金「グローバルリーダー型」	
対象	一定基準の語学力および成績(GPA)を満たした学生の中から国際教育センターが選抜した学生(申請不要)
受給額	1年間留学の場合:120~150万円、1学期留学の場合:60~75万円 ※語学力により金額が異なります
備考	・本奨学金の受給対象者となった場合、交換留学奨学金または認定留学奨学金との併給は不可です。 ・詳細は本学のウェブサイト「東洋大学による海外留学奨学金」で確認してください。 https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_prep/scholarship/international-scholarships/#sokushin

東洋大学海外留学促進奨学金「トップ大学型」	
対象	留学支援団体を通じた留学または個人で選定した大学に留学する場合で、かつ下記の二つの条件に当てはまる大学に留学する学生 ・最新の Times Higher Education (THE) のランキング「World University Rankings」で 100 位以内の大学 ・留学に伴う授業料が年間 250 万円相当以上(1 学期の場合は 125 万円相当以上)の大学
受給額	1年間留学の場合:300万円(※) ※留学先大学で2学期間(1年間)の履修を原則とし、1学期間留学の場合でも申請は可としますが2学期間以上の学生を優先します。
備考	・本奨学金の受給対象者となった場合、交換留学奨学金または認定留学奨学金との併給は不可です。 ・本奨学金を希望する場合は出願が必要となります(出願後、選考あり)。詳細は本学のウェブサイト「東洋大学による海外留学奨学金」で確認してください。 https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_prep/scholarship/international-scholarships/#sokushin

JASSO 海外留学支援制度奨学金(予定)	
対象	下記の大学へ留学する学生 カレッジ・オブ・ザ・デザート(アメリカ)、ボストン大学(アメリカ)、エジンバラ大学(イギリス)、ディーキン大学(オーストラリア)、ニューカッスル大学(オーストラリア)、
受給額	6~10万円/月(留学先により異なる)
備考	一定基準の語学力および成績(GPA)を満たした学生を国際教育センターで選抜するため、申請は不要です。対象者には留学決定後にご連絡します。

(2) 他学内奨学金との併給可否について

① 交換留学奨学金・認定留学奨学金(※併給確認は留学対象の学期を基に行います)

<春学期出発の場合>

留学期間	年間授業料額	東洋大学奨学金との併給可否				
		学部			大学院	
		東洋大学学業成績優秀者奨学金 (旧東洋大学第1種奨学金)	東洋大学経済的修学困難者奨学金「エール」 (旧東洋大学第2種奨学金)	東洋大学生計維持者の逝去に伴う奨学金 (旧東洋大学第3種奨学金)	東洋大学大学院奨学金「第1種奨学金」	東洋大学大学院奨学金「第2種奨学金」
1学期間	60万円以上	△ ※1	○	○	○	○
	60万円未満	△ ※1	△ ※1	○	△ ※1	○
1年間	60万円以上	× ※2	× ※2	× ※2	× ※2	× ※2
	60万円未満	× ※2	× ※2	× ※2	× ※2	× ※2

<秋学期出発の場合>

留学期間	年間授業料額	東洋大学奨学金との併給可否					
		学部			大学院		
		東洋大学学業成績優秀者奨学金 (旧東洋大学第1種奨学金)	東洋大学経済的修学困難者奨学金「エール」 (旧東洋大学第2種奨学金)	東洋大学生計維持者の逝去に伴う奨学金 (旧東洋大学第3種奨学金)	東洋大学大学院奨学金「第1種奨学金」	東洋大学大学院奨学金「第2種奨学金」	
1学期間	60万円以上	○	○	○	○	○	
	60万円未満	△ ※1	○	○	△ ※1	○	
1年間	出発年度	60万円以上	○	○	○	○	○
		60万円未満	△ ※1	○	○	× ※2	○
	帰国年度	60万円以上	△ ※1	× ※2	○	○	○
		60万円未満	△ ※1	△ ※2	○	× ※2	○

※1 同一年度内に併給総額が年間授業料相当額を超過する場合、東洋大学奨学金は授業料の範囲内で打ち切り給付する。

※2 同一年度内に併給総額が年間授業料相当額を超過するため、併給不可。給付額の高い交換・認定留学奨学金を給付する。

※3 上記以外の奨学金との併給可否は、国際教育センターにお問い合わせください。

学内奨学金の詳細は下記のウェブサイトでご確認ください。

<https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/award/>

② 東洋大学海外留学促進奨学金「トップ大学型」・「グローバルリーダー型」

- ・交換留学奨学金、認定留学奨学金、国際学部グローバル・イノベーション学科海外留学プログラム奨学金との併給は不可。
- ・上記以外の他奨学金との併給については国際教育センターへお問い合わせください。

③ JASSO 海外留学支援制度奨学金

- ・他奨学金との併給については国際教育センターへお問い合わせください。

2. 学外の奨学金

外国政府や学外の団体による奨学金もあります。留学先や学生の受給資格等により異なりますので、下記のウェブサイト等で各自ご確認ください。

https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_prep/scholarship/gakugai/

【4】 注意事項 ※長期留学に出願する方は必ず全て確認してください。

- ① 志望する大学で所属学部・学科等の専門分野や履修したい科目が開講されているかを各自で確認してください。原則、留学先では本学の専攻に合致する科目を履修します。
- ② 出願にあたり、必ず保証人の了承を得ることとし、参加者および保証人とも健康状態確認書に署名・捺印してください。参加者と保証人の印影が同じものは受付不可です。必ずそれぞれの印鑑を使用してください。外国籍の方も必ず保証人欄を記入してください(保証人が海外在住の場合、署名した書類のコピー提出可)。
- ③ 本学の学費は、留学期間中も通常通り納入する必要があります。
- ④ 留学のための資金計画をしっかり持った上で出願してください。留学にかかる資金については、留学レポートを閲覧し、これまでの長期留学参加者からの報告を参考にしてください。本学の協定校(Bタイプ)や留学支援団体を通じた留学等の場合、留学先の授業料がかかります。また、本学の協定校(Aタイプ)であっても語学スコア不足により語学科目の履修が義務付けられる場合、語学科目履修部分の授業料が必要となることがあります。
- ⑤ 留学先大学または留学先国の規定により、留学許可あるいはビザ取得の要件として、留学予定期間中の滞在費用を支弁できるという証明のために、留学開始前に一定金額以上の銀行残高証明書の提出や、事前に滞在資金の海外送金を求められることがあります。詳細は、留学先国の大使館ウェブサイト等で確認してください。
例：1年間の交換留学(Aタイプ)・・・150～200万円程度、1年間の交換留学(Bタイプ)・・・400万円～
* 上記金額は日本国籍者の場合です。その他の国籍の場合、さらに多い金額を求められることがあります。
- ⑥ 留学にあたり原級する可能性のある方は、学内出願前に必ず所属の教務担当部署で相談をしてください。
- ⑦ 学内選考に合格しても、本学の各種会議で承認されない場合、留学先大学にて受入が否決された場合、留学先国のビザ(査証)が取得できない場合、最終的な通算 GPA が基準を満たさなかった場合(秋学期出発の場合は2021年度春学期まで)、および本学大学院への進学ができない場合等は合格取消となり、留学不可となります。また、本学からの留学する者としての責任を果たさず、海外大学へ派遣することが相応しくないと国際教育センターが認めた場合も合格取消となり、留学不可となります。
- ⑧ 留学にあたり、本学指定の海外旅行保険(付帯海学・J-TAS 海外危機管理システム 24時間対応健康相談サービス)への加入が必須となります(費用自己負担)。留学先大学での現地健康保険に加入が義務付けられている場合、双方に加入する必要があります。

- ⑨ 学内出願後、自己都合による留学辞退は原則として認められません(学部の交換留学に出願することを目的とする場合であっても同様)。
- ⑩ 学内選考を通過し留学が内定した場合も、最終的な留学可否は留学開始前の現地情勢等を確認のうえ、本学のガイドラインに基づき決定します。これにより、留学の中止が決定された場合、それまでに発生した経費はすべて参加者の負担となります。
- ⑪ 感染症の蔓延等、本学が留学先での安全確保が困難であると判断した場合は留学を中止する可能性があります。また、留学開始後に同様の恐れが発生した場合は、留学を中止し速やかに帰国いただくよう勧告する場合があります。この際に発生する経費はすべて参加者の負担となり、各種奨学金は一部または全額を返還していただく場合があります。
- ⑫ 東洋大学学生の留学に関する規程及び東洋大学大学院学生の留学に関する規程第12条・第13条の規定により留学の許可が取り消された場合、参加者が留学中に帰国、休学、退学又は学則に定める懲戒処分を受けた場合、留学期間中に正規課程科目を履修および修得できなかったと認められた場合、国際教育センターが定める留学前～帰国時提出物の提出が滞った場合等は奨学金は返還いただきます。
- ⑬ 学内出願にあたり、留学先や履修科目について事前に指導教員(該当教員がいない場合、留学中の学修について相談ができる教員)とよく相談してください。
- ⑭ ISEP 加盟校および UMAP 加盟校の留学期間は留学先大学により異なります。出願先を選択する際、出願先大学の学年暦と本学の学年暦が重複しないよう必ず確認してください(重複している場合は学内出願不可となります)。
- ⑮ ISEP 加盟校へ留学する場合、宿舍費、食費を留学前に納入いただきます。費用は参加者へ別途お知らせします(2021年度参考:1,150,000円/1年間(1学期間の場合575,000円))。その他、ISEP 出願料、プレースメント費、ISEP 保険料等がかかります。出願の際には、必ず ISEP のホームページを確認してください。

【5】よくある質問

長期留学のウェブサイト内、「FAQ」をご確認ください。

https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku_semester/faq

○ 長期留学の学内選考に関する問合せ先 ○

東洋大学国際教育センター

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 (白山キャンパス 8号館 1階)

〔開室時間〕 月～金 9:30～18:00 土 9:30～13:00

〔電話〕 03-3945-8794(代) 〔Email〕 mlryugaku@toyo.jp

※コロナ禍により国際教育センターでは職員が在宅勤務となっている場合があるため、お問い合わせは原則メールでお願いします。